



公益財団法人 長崎平和推進協会
<https://www.peace-wing-n.or.jp>

- 令和3年度 長崎平和推進協会の事業計画・予算
- 核兵器禁止条約発効にあたっての理事長メッセージ
- アジア青年平和交流事業
- 国際青年平和フォーラム
- APNフィードバックセミナー
- オンライン研修を実施しました
- 動画を公開しました
- 書籍の改訂版を発行します！
- TOPICS！(臨界前核実験に対する抗議文を送付 ほか)
- 被爆体験講話会を実施しました
- オンライン講話が増えています
- 会員の広場



青少年ピースボランティアと、広島市で平和活動に取り組む団体がオンラインで交流しました。
(詳細は6ページ)

令和3年度 長崎平和推進協会の事業計画・予算

①平和推進事業：61,598,000円（下記の事業費+人件費・事務費35,423,000円）

1 発刊事業 1,161,000円

- 協会の活動を紹介する会報「へいわ」（年4回）や情報BOX（月1回）、事業概要をまとめた「平和のあゆみ」（年1回）の発行などでの情報発信
- 協会公式サイトその他、LINE・InstagramなどSNSでの広報活動

2 啓発事業 2,923,000円

- 平和学習の実施…被爆体験講話者や外国語ボランティアガイドの派遣、平和学習用DVDや写真パネルの貸出など
- 講演会の開催…平和への認識を深めるため、講演会を開催
- 国連軍縮週間行事「市民のつどい」…国連軍縮週間に合わせた「市民のつどい」の実施

3 継承事業 13,447,000円

- 県外原爆・平和展…未開催県で、写真・資料の展示や被爆体験講話などを実施。また、若い世代へ伝えるため、大学でも開催（令和2年度開始予定より1年延期）
- 語り継ぐ被爆体験（家族・交流証言）…被爆者の被爆体験を語り継ぐ「家族・交流証言者」を支援し、長崎市内へ派遣
- 青少年ピースボランティア育成…青少年が被爆の実相や戦争・平和について考え、行動する場の提供
- 青少年ピースフォーラム…8月8・9日に全国の平和使節団と長崎の青少年が学習し、交流する場の提供
- 青少年平和交流…長崎の高校生5人を海外（ハワイ）に派遣し、現地の若者との意見交換等を実施
- 平和学習発表会 **NEW!**…長崎市内の中学生が集まり、取り組んでいる平和学習の内容・成果等を発表

4 調査研究 100,000円

- 情報収集や関係機関との交流・意見交換を図り、平和・軍縮関係の会議やシンポジウム等への参加

5 育成事業 8,544,000円

- 部会活動…会員の自主活動を図るための4部会の活動の支援。また、米国国立公文書館資料検証業務を、長崎市より受託
- 平和案内人派遣…原爆資料館・追悼平和祈念館、被爆建造物等を案内する平和案内人の派遣
- アジア青年平和交流事業…長崎の高校生・大学生より平和に関する企画を募集し、事業を委託する形での活動支援

②追悼平和祈念館運営事業：271,624,000円

平成15年に開館した「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」の管理・運営を国から受託します。また、新型コロナウイルス感



染症への対策を講じながら、被爆関連資料・情報の収集や提供、国際協力・交流事業の実施の他、被爆体験記の朗読事業や海外原爆展など被爆体験の継承にも取り組みます。

③収益事業：2,428,000円

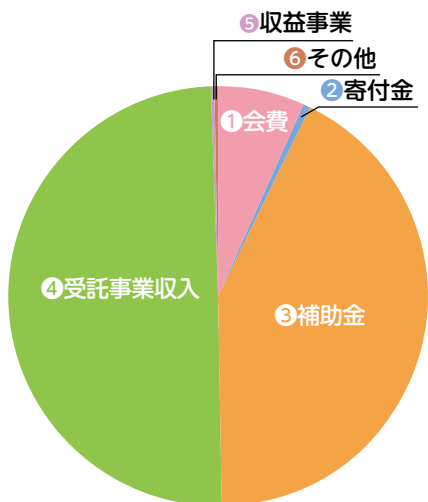
原爆や平和に関する書籍やグッズを作成し、ウェブサイトや原爆資料館売店で販売します。利益の50%は平和推進事業の財源にも充てています。

【協会ウェブサイト】

<https://www.peace-wing-n.or.jp/shop/>

④法人会計：5,482,000円

公益法人として適正に運営を行うため、定期的に理事会、評議員会等を開催します。



皆様からいただいた**会費**や**寄付金**は、平和推進事業と法人会計で使われます。

①会費	4,518,000円
②寄付金	343,000円
③補助金	28,210,000円
④受託事業収入	32,776,000円
⑤収益事業売上より	320,000円
⑥その他	3,000円

長崎平和推進協会 被爆76年目の取り組み

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に中止した事業を、実施します。

■女優たちの原爆朗読劇「夏の雲は忘れない」（規模縮小版）
昨年8月に開催し、大変好評だった原爆朗読劇「夏の雲は忘れない」を、規模を縮小して実施します。
日程等が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

■ナガサキ原爆写真展
写真資料調査部会を中心に、原爆写真展を開催します。
期間：7月21日（水）～7月26日（月）
場所：長崎市立図書館 多目的ホール

■設立記念事業 講演会（拡大して開催）
毎年開催している講演会を、規模を拡大して実施します。
日程等が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

※写真はイメージです



核兵器禁止条約 発効にあたっての 理事長メッセージ

1月22日、核兵器禁止条約が発効しました。これは、「核兵器廃絶」に向けて長年取り組んでこられた、被爆者の方々ははじめとする多くの皆さま方のご尽力の賜物と考えます。

折しも、条約発効前日には、オバマ政権時の「核なき世界」の理念を継承するジョー・バイデン氏の大統領就任式が行われました。

この核兵器禁止条約の発効と、バイデン米大統領の就任を契機に、核兵器廃絶へ向けた世界の潮流がさらに勢いを増し、「核兵器のない世界」の実現を確実に進めることを期待します。

まだまだ課題も残されていますが、当協会では、「長崎を最後の被爆地に」という被爆者、被爆地・長崎の切なる願いを実現するため、平和への取り組みをより一層積極的に進めてまいります。

公益財団法人
長崎平和推進協会
理事長 横瀬 昭幸



新型コロナウイルス感染症にも負けず… 色々な活動に取り組みました！

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るった令和2年度。

人が集まったのイベント開催は難しくなりましたが、それでもオンラインイベントなど方法を変えながら、活動しました。若者たちの取り組みをご紹介します。

アジア青年 平和交流事業

3月6日、アジア青年平和交流事業「成果報告会」を開催し、9月の発表・審査会で認定された3団体が、「自分たちが考える国際・平和交流」をテーマに取り組んだ活動の成果を報告しました。感

染対策として、聴講者は審査員(協会役員)に限定し、報告団体も発表時間のみの参加となりました。今年度は、イベントの開催等が難しく、制限がある中での実施となりましたが、動画作成・配信に取り組むなど、各団体、それぞれに工夫を凝らした取り組みとなりました。

それぞれの発表を聞いた審査員は、「コロナ禍でこれまでとは違った形の活動となったが、オンラインの活用や動画の作成など、新しい方法に取り組みられたことを評価したい」「リモートが活発になった今だからこそ、訪問が難しい国とも繋がり、交流してほしい」などそれぞれの団体に感想を伝えました。



長崎純心大学 Green Pieces

長崎在住の外国人7人にインタビューを行い、国による視点や認識の違いなどを聞き取った。その内容をまとめた冊子を発行した。



◆船山忠弘審査委員長コメント
長崎在住の外国人にインタビューを積み重ねることによって、来日前と来日後の原爆投下についての認識を探るといった試みはとても貴重であり、国によって認識の違いがあることも分かりました。今後、更に活動の幅を広げていただくことを期待しています。

長崎大学 Peace Caravan隊

オンラインでの勉強会を開催し、外部を含めて知識の向上に図った。また「原爆とは?」を題材にした動画の作成に取り組んだ。



◆船山忠弘審査委員長コメント
出前講座の開催が困難で、ディスカッションが出来ないなど、厳しい制約の中、動画の作成に着目されたことを高く評価します。核開発の流れの中で長崎原爆を位置づける取り組みから、今後さらに長崎原爆被爆の実相を追求し、発信していただくことを期待します。

活水高等学校 平和学習部

絵本「ふりそでの少女」を紹介する多言語版パンフレットを作成した。また振り袖の折り紙を考案し、折り方紹介の動画を作成した。



◆船山忠弘審査委員長コメント
長年にわたって「ふりそでの少女」プロジェクトを続けてこられたことに敬意を表し、今回、パンフレットや折り紙動画の作成など、新たな試みに取り組まれたことを高く評価します。今後、後輩の皆さんも新しい試みを取り入れながら、活動を継続されることを期待します。

国際青年 平和フォーラム

2月28日、「次世代への継承・平和の発信に向け、取り組んでみたいことは何か」をテーマに交流し、被爆地・長崎に望む取り組みを提言する「国際青年平和フォーラム」をオンラインで開催しました。

長崎の青少年ピースボランティアやナガサキ・ユース代表団をはじめ、千葉・広島・沖縄、マレーシアなど留学生を含めて国内外の若者約30人が参加しました。

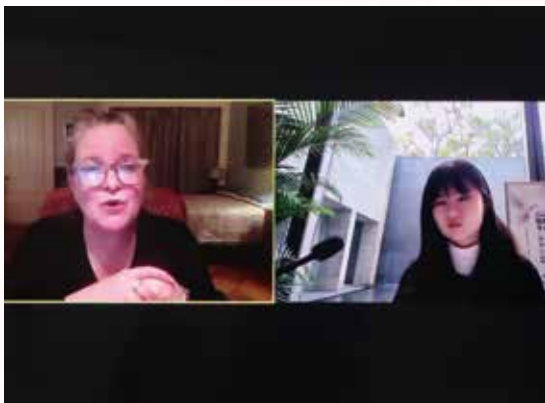
長崎平和特派員も務めるキャサリン・サリバン博士の基調講演では、「核兵器禁止条約発効と、これからの若者の果たす役割」と題し、被爆者の体験を自分事

として捉えることの重要性が語られました。

活動報告では、広島の中・高校生ピースクラブ卒業生の中村園実さんや、長崎市で開催される青少年ピースフォーラムに参加した経験のある千葉県我孫子市の高校生、早坂弘宇さんと原直輝さんが、現在取り組んでいる平和活動について報告してくれました。

意見交換では、住む国や経験が異なる参加者の皆さんが、それぞれの立場で、熱心に意見を出し合い、SNSの活用や、国際的なNPOによる教育プログラムの実施などの提言が発表されました。

なお、3月17日には、フォーラムの参加者の一部が長崎市長を表敬訪問し、意見をまとめた「提言書」を手渡しました。



APN フィードバック セミナー

2月27日、「APNフィードバックセミナー」を開催しました。マレーシア、韓国、

日本をオンラインで結び、昨年、追悼平和祈念館で実施した「アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム（APN）」に参加した9か国出身の17人が参加しました。

まず、この二年間の活動が発表され、昨年、自分ができる平和活動として「ビデオ

を作成する」と決意した長崎大学の学生は、「コロナ禍で大きな影響を受けながらも、今できる活動を積極的にを行い、ビデオが完成に近づいていることを報告しました。

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）の中

村桂子氏による講義後は、「核兵器禁止条約発効後の今、若者にできること」をテーマにグループに分かれて意見交換を行いました。昨年、3日間にわたって議論を交わした参加者たちは、限られた時間内でも活発に話し合

い、「学校や市民へ被爆者の声を届ける」、「全ての人に知ってもらうために、自国語で原爆被爆や核兵器禁止条約発効について発信する」、「利害関係者間の対話を促す」、など多くのアイデアを発表しました。

「コロナ禍で多くの活動が制限される中でも、様々な取り組みを続けている仲間たちと再会し、話し合ったことで、お互いに刺激を受けることができたと思います。若者による平和ネットワークの構築のための意義のある一歩となりました。



九州大学原爆展
被爆体験講話会を実施しました



1月23日、九州大学被爆体験講話会が実施されました。当初は、九州大学内での写真・資料等の展示も予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を受けて中止となり、オンラインでの被爆体験講話会のみの実施となりました。来日できずにいる九州大学留学生を主な対象とし、青少年ピースボラティアでもある九州大学生が作成した英語での被爆資料等紹介動画や、山脇佳朗氏（継承部会員）が英語で語る被爆体験講話などが配信されました。24ヶ国208人が視聴しました。

青少年ピースボラティア
オンライン研修を実施しました



1月から2月にかけて、青少年ピースボラティアと、広島市で平和活動に取り組む団体とをオンラインで結び、被爆体験の聴講や意見交換などを行いました。意見交換では、広島市の若者たちによる「オンライン碑めぐり」を通して、平和への思いについて学んだ後、広島と長崎で連携できる活動について話し合いました。今後も定期的に広島市の若者たちと意見交換を行っていきます。本来は広島市を訪れ、資料館等の見学も行う予定でしたが中止となったため、3日に分けて、オンラインで交流しました。

継承部会員による被爆体験講話
オンライン講話が増えています



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、被爆体験講話のキャンセルが相次ぎました。「修学旅行は中止するが、被爆者からの話は聞かせたい」と、オンラインでの被爆体験講話の実施を希望する学校が多く、追悼平和祈念館が実施するピースネットなどで対応しています。継承部会員は、目の前に子どもたちがおらず、小さなカメラに向かって話すだけというやり方に戸惑いながらも、一生懸命伝えていきます。講話を終えた部会員は、「画面越しでも話せて良かったけれど、一日も早く、直接話せる日が来るといいな」と話していました。

青少年ピースフォーラム
動画を公開しました



青少年ピースボラティアによる動画（全5本）を、YouTubeで公開しました。動画は、8月8・9日の青少年ピースフォーラムの紹介や、平和公園や浦上天主堂、山王神社などを案内する様子を撮影したもので、ピースボラティアとして活動する青少年が説明しています。これまでにピースフォーラムに参加されたことのある自治体等へDVD化して配付したこの動画が、協会YouTubeチャンネルの他、協会ウェブサイトでも視聴いただけます。是非度、ご覧ください。

長崎平和推進協会

書籍の改訂版を発行します！

【増補改訂版 長崎の原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ】

被爆60周年に発刊した「長崎の原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ」が、新しく設置、または移設された慰霊碑などを追加・修正・加筆した「増補改訂版 長崎の原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ」として、新しくなりました。

増補改訂版では、写真を一新した他、持ち運びやすいA5サイズに変更しました。また、Google Mapを利用したQRコードを掲載し、碑の場所を分かりやすく紹介しています。抗菌加工したブックカバー付き。

■税込1,100円(会員価格990円) A5サイズ・全124ページ



【長崎原爆資料館 資料館見学・被爆地めぐり

「平和学習」の手引書(増補改訂版)】

原爆資料館や周辺の被爆建造物等を詳しく紹介する「長崎原爆資料館」が、内容を一新しました。

小学生にも分かりやすいよう、説明文を工夫し、大きな文字で難しい漢字にはふりがな付きです。修学旅行などの事前・事後学習などにもご利用ください。

■税込330円(会員価格297円) A5サイズ・全120ページ(予定)

※表紙はイメージです

●どちらの書籍も、当協会ウェブサイトのオンライン販売の他、当協会事務室、原爆資料館書籍販売コーナーで購入できます。

【お問い合わせ先】長崎平和推進協会 ☎095-844-9922

No. 16



Peace Wing Nagasaki

会員の広場(拡大版)

アメリカとロシア 新START延長合意

米国とロシア両政府は2月3日、戦略核弾頭の配備数とミサイルなどの運搬手段の総数を制限する新戦略兵器削減条約(新START)を5年間延長したと正式に発表した。両国間に唯一残った核軍縮条約である新STARTは、2月5日の期限切れを前に辛うじて存続が決まり、期限切れ失効という最悪の事態は回避された。

新STARTは、戦略核兵器の配備数を初めて制限した第一次戦略兵器削減条約(START1)の後継条約として米ロ両国が2010年4月に調印、11年2月発効。配備戦略核弾頭数を1550、大陸間弾道ミサイルなどの運搬手段総数を800と米ロ核軍縮史上、最低水準まで制限、両政府は18年2月に目標達成を発表している。ただし、未配備の戦略核弾頭や短距離型の戦術核は対象外。

延長交渉はトランプ前米政権下で難航していたが、バイデン新大統領が就任間もない1月26日にロシアのプーチン大統領との電話会談で合意した。1月22日発効した核兵器禁止条約に続く核軍縮の動き。バイデン大統領はオバマ元大統領が理想と掲げた「核兵器なき世界」を追求する方針と伝えられている。一方、トランプ政権下で米ロに中国を加えた軍備増強は加速しており、今回の延長は既存の枠組みの維持に過ぎないとも言え、軍拡阻止の道筋は見えていないのが実情。

広報委員長

本田貞勝



お便りをお寄せください！

E-mail : info@peace-wing-n.or.jp

〒852-8117 長崎市平野町7-8

長崎平和推進協会「会員の広場」係

平和推進協会では、会員の皆様よりお便りを募集します。会報をご覧になってのご意見、ご感想、お便りなど、会員の皆様の声をお寄せください。投稿いただいた声は、広報委員会を経て、「会員の広場」で会報「へいわ」に掲載させていただきます。投稿は300字以内でお願いします。また、匿名の投稿はご遠慮ください。



PEACE WING NAGASAKI

TOPICS! へいわトピックス



臨界前核実験に対する抗議文を送付しました

令和2年11月にアメリカがネバダ州で臨界前核実験を行っていたとの報道を受け、1月18日、アメリカ大統領と在日アメリカ大使館に対し、抗議文を送付しました。核兵器禁止条約の批准国が50か国に達した直後に行われた核実験に対し、「核兵器廃絶を訴えてきた被爆者の想いを踏みにじる」と、英語と日本語で訴えています。

抗議文

2020年11月に、貴国が核爆発を伴わない臨界前核実験を西部ネバダ州の実験場で実施したとの報道に接しました。今回の臨界前核実験は、現政権における「核態勢見直し（NPR）」における「核兵器の役割拡大」の方針を着実に推進するものであり、核兵器の使用リスクを高めかねない行為は、「長崎を最後の被爆地に！」と核兵器の廃絶を訴えてきた被爆者の想いを全く踏みにじるものであります。

さらに、臨界前核実験が実施された昨年11月は、2017年7月に国連で採択された核兵器禁止条約（TPNW）の批准国が50か国に達した直後の時期にあたり、核兵器廃絶を求める国際社会の声に水を差すものであります。

被爆地長崎において官民一体となり核兵器廃絶・世界恒久平和の実現を目指している私ども公益財団法人長崎平和推進協会は、核兵器廃絶を訴える被爆者の声に耳を傾けることなく、核兵器の役割を強化する貴国の行為に対し、強い憤りを感じます。

ここに、被爆地長崎の平和推進協会理事長として、今回の臨界前核実験に強く抗議すると同時に、私どもの切なる訴えをお聞き届けいただき、全ての核兵器関連の実験を放棄して、地球上から核兵器をなくすため共に歩んでいただくよう要請いたします。

公益財団法人 長崎平和推進協会
理事長 横瀬昭幸

「3.11 メモリアルイベント」に追悼平和祈念館長が出演しました

3月6日、東日本大震災原子力災害伝承館（福島県）が開催したメモリアルイベントに、黒川追悼平和祈念館長がオンライン出演しました。「東日本大震災・原子力災害から10年。記録と記憶を後世へ」をテーマに、トークセッション（第3部）では、伝承館に加え、岩手県にある東日本大震災津波伝承館、広島・長崎の追悼平和祈念館を繋ぎ、それぞれの館での風化防止のための様々な取り組みを紹介しました。このイベントの映像は、YouTubeでご覧いただけます。



世界の核弾頭の数

	ロシア	米国	中国	フランス	英国	パキスタン	インド	イスラエル	北朝鮮	合計
2020年6月1日	～6,370	～5,800	320	290	195	～160	～150	80～90	～35	～13,410

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）提供 <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

会員数報告

- ◎維持会員 995名
 - ◎賛助会員 156名
 - ◎学生会員 11名
- 令和3年3月10日現在

賛助会員（団体法人）の覧は協会ホームページに掲載しています。
ご支援ご協力誠にありがとうございます。

寄附者紹介

- ◎上西 和紀 (敬称略) 一万円
- ◎匿名(二件) 五千元

会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。今年度まだ会費を納めていただいていない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入くださいますようお願いいたします。

お支払いいただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象になります。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。だくか、事務局までご連絡ください。

